



ハス

8 月10日号
2009
vol. 113

福岡

遠加良

議会だより

6月定例会

平成21年度補正予算

2 P

一般質問

4 P ~ 8 P

- ・ 第2期指定管理者の候補者選定方法は！
- ・ 自立推進計画の達成状況と今後の取り組みは！
- ・ 給食センターは町の責任で運営させることが最善の方法だ！
- ・ 学校図書充実と予算措置は十分と思うか！
- ・ 新型インフルエンザ対策は大丈夫か！

委員会レポート

9 P

わがまちの伝統文化

10 P



浅木小学校着衣水泳

6月

定例会

6月定例会は、2日から11日までの10日間開催されました。

議案としては平成21年度一般会計補正予算をはじめ条例の一部改正などが上程され、慎重審議が行われました。

平成21年度一般会計補正予算可決

主なもの

○保育園施設整備等補助金

253万8千円
南部・山びこ・遠賀川
各保育園の耐震診断費用

○幼稚園施設整備等補助金

91万1千円
中央幼稚園の耐震診断費用

○総合運動公園管理費

57万8千円
コミュニティーセンター和室
(寿の間)の空調設備取替え



▲コミュニティーセンターの空調設備



▲遠賀川保育園

○武道場管理費

112万0千円
武道場駐車場のアスファルト
舗装工事

○退職準備基金からの繰り入れ

659万5千円
職員1名の退職。
勤務年数15年2ヶ月



▲武道場駐車場

条例

○附属機関の設置に関する条例の一部改正

(全員一致可決)

「遠賀町障害者地域自立支援協議会」を「遠賀町障害者計画等策
定委員会」に改める。

☆障害者福祉に関する相談支援に関することを県の指導により本
年10月より中間市遠賀郡にて広域的に行うため分離する。

○特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一
部改正

(全員一致可決)

右記附属機関の設置に関する条例の一部改正に伴い本条例中の条
文の文言を改める。

報告

○平成20年度遠賀町土地開発公社の経営状況

○平成20年度遠賀町一般会計繰越明許費繰越計算書

請願

○「協同出資・協同経営で働く協同組合法」(仮称)の速やかな制定について意見書の提出を求める請願
(全員一致採択)

*意見書抜粋

「協同労働の協同組合」は、「働くこと」を通じて、「人と人のつながり」を取り戻し、コミュニティの再生をめざす活動を続けていきます。

しかし、現在のこの「協同労働の協同組合」には法的根拠がないため、社会的理解が不十分な状態です。

雇用・労働の問題と地域活性化の問題は不離一体です。だれもが「希望と誇りを持って働く」、仕事を通じて「安心と豊かさを実感できるコミュニティをつくる」、「人とのつながりや社会とのつながりを感じる」、こうした働き方を目指す協同労働の協同組合は、市民事業による市民主体のまちづくりを創造するものであり、働くこと・生きることに困難を抱える人々自身が、社会連帯の中で仕事をとおし、社会に参加する道を開くものです。

国においても、社会の実情を踏まえ、課題解決の有力な制度として、「協同出資・協同経営で働く協同組合法」の速やかなる制定を求めるものです。

専決

○平成20年度一般会計補正予算
(全員一致承認)

○税条例等の一部改正
(全員一致承認)

○国民健康保険税条例の一部改正
(全員一致承認)

選任

○第一常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 二村 義信 |
| 副委員長 | 舛添 清美 |
| 委員 | 堅田 繁 |
| 委員 | 浜岡 峯達 |
| 委員 | 宮迫 高志 |
| 委員 | 柴田征一郎 |
| 委員 | 濱之上喜郎 |

○第二常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 三原 光広 |
| 副委員長 | 古野 修 |
| 委員 | 平見 光司 |
| 委員 | 萩本 悦子 |
| 委員 | 石松 守 |
| 委員 | 奥村 守 |

○議会運営委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 柴田征一郎 |
| 副委員長 | 堅田 繁 |
| 委員 | 三原 光広 |
| 委員 | 古野 修 |
| 委員 | 二村 義信 |
| 委員 | 奥村 守 |

○議会広報調査特別委員会の補選
(宮迫高志委員辞任に伴う)

- | | |
|----|------|
| 委員 | 古野 修 |
|----|------|

選挙

○福岡県遠賀郡芦屋町外二力町競艇施行組合議会

- | | |
|----|-------|
| 議員 | 舛添 清美 |
| 議員 | 柴田征一郎 |
| 議員 | 濱之上喜郎 |

5月 臨時会



▶第一常任委員会



◀第二常任委員会

Q

第2期指定管理者の候補者選定方法は!



はぎもと えつこ 議員
萩本 悦子

A

町立図書館は公募、ふれあいの里では非公募を予定している。



町立図書館蔵書点検風景

※この他に学校支援地域本部事業についても質問した。

指定管理者制度導入効果

議員 現在、ふれあいの里、町立図書館では、指定管理者制度が導入されているが、その効果は。

町長 ふれあいの里においては経費の面から見ると、人件費の削減、住民サービス等の面からは、小浴場のラジウム人工温泉化や1月3日からの営業開始、麺・パン・陶芸教室の日曜教室の開催等の自主事業を実施している。利用者数は横ばいではあるものの、年間総事業収入では、約400万円の増収である。利用者アンケートの結果も概ね良好と判断している。

教育長 町立図書館では、年間約500万円の人件費削減となっている。利用者数は、減少傾向ではあるものの、利用者アンケートでは、開館時間の1時間延長により、利用しやすくなったという意見や職員の対応や施設の快適さに満足という意見も多く、導入以前に比べて全

般的に良好だと判断している。

制度導入予定施設

議員 今後、どのような「公の施設」で指定管理者制度を導入する予定か。

町長 総合運動公園、第1・第2町民体育館、武道場での導入を検討している。

町立図書館、ふれあいの里は、引き続き指定管理者制度を導入する予定で、本年度に選定審査委員会を開催する。

候補者の選定方法

議員 第1期の指定管理者候補者の選定は、町立図書館では公募、ふれあいの里では非公募だった

が、第2期は、両施設とも公募と考えてよいか。

教育長 町立図書館については、第1期と同じく公募とする。

副町長 ふれあいの里は、福祉及び生涯学習の拠点としての機能を有した中で高齢者対策、生涯学習対策を行う趣旨で設置し

た。このような経緯等により第2期も地域に定着した福祉という観点から社会福祉協議会を公募によらずに選定すべきと判断している。

しかし、選定審査委員会ですっかり協議すべきと考えている。

選定審査結果の公表

議員 選定されたの審査基準や評価得点等の審査結果を応募者が特定されないような配慮をして公表すべきと考えるが・・・

副町長 まず、公募者には、選定結果を公表しなければならぬが、一般住民の方にどこまで公表するかは検討の余地がある。

議員 指定管理者制度の導入には、公平性・透明性の確保とその厳格な運用が求められる。

また、住民への情報開示も必要だ。審査会委員の氏名や所属、審査項目や得点等を詳しく公表している自治体もある。検討を要望する。

Q

自立推進計画の達成状況と 今後の取り組みは！



はまおか みね さと
浜岡 峯達 議員

A

これまでの実績と課題点を十分に検証し、さらなる見直しを行い行財政改革を進めたい。



庁舎内風景

自立推進計画は最終年度に入ったが、本年度内に達成は可能か

議員 平成18年3月に作成された目標に対して、21年度中に達成ができるのか。

行政経営課長 16年度と比較して人件費等々効果が大きいので達成できるものと考えている。

議員 18年3月に目標を設定したのと、今回ホームページで出てきたものを累積していくと、金額に差が出ているがなぜか行政経営課長 実績額が上回っているということ

で実際の総額の見直しに基づいて変更している。

議員 目標はあくまでも目標であって、実績が変わることがあっても、その都度目標が変わるとい

うのは理解ができない。**町長** 人件費の削減もやるなど、そのときの状況によって差が出てくる事がある。

自立推進計画を推進する波及効果は

議員 職員の意識改革はどうであったか。

町長 いろいろな部分で目も養われてきたので、職員のモチベーションは上がっていると考える。

議員 職員からの提案件数は何件あったか。

町長 町長室の前に提案箱を置いていたが、3年間で8件か10件だった。

議員 民間の会社では3年間に8件か10件なんていつていたら、その会社はつぶれてしまう。

提案が出ない理由を掌握し、職員のやる気を出させる手段として、十分検討をされたい。

町長 職員の意見を施策に反映させるため、いろいろな事業の中ではワーキングをつくったり、各課より代表を出して問題点の解決を図っている。

今後、行財政改革を進めていく方策は

議員 職員の定数管理という面でグループ制の導入は、本年度中に達成できるのか。

副町長 グループ制のメリットを明確に示すことができなかったため、グループ制のいいところを導入して、再度機構改革による、事務内容の見直しをやるべきだという結論に達したので導入を見合わせている。

議員 同僚議員の発案でコミュニケーションバスに広告を載せた事で財政効果を生んでいる。

同じように本町各施設の自販機に他町で行っている売上金の一部が町に還元できるように調査研究をしてはどうか。

町長 継続的に設置しているということであれば、内部で検討させたい。

Q

給食センターは町の責任で運営させることが最善の方法だ！



かた だ しげる
堅田 繁 議員

A

民間委託も含め専門部会で検討する。



給食センター調理風景

学校給食のあり方

議員 学校給食法の目的は、これまでの栄養改善から地元の食材活用、生産者への感謝や郷土への愛着を育てることなどが新たに追加されて、法律が改正された。その目的をどのように達成する考えか。

教育長 学校給食の目的が達成されるように今後とも取り組んでいく。

具体的には、栄養士を中心に給食献立委員会を毎月開き、望ましい献立の工夫をしている。地場産品の利用を意識させるため、献立表に町内産、郡内産のマークを記入し、児童・生徒に手渡している。

また、給食時には担任の先生が、自然や生産者への感謝、食事のマナーなどについて話をしていく。

給食センターを民間委託することは自治体の責任を後退させることになるのではないかと

議員 民間委託する場合に考慮しなければならぬ問題点は何か。

教育長 給食の質の維持向上、効率的な給食調理業務の運営、食材調理の安全性と衛生環境の確保。あるいはアレルギー対応などを含めた給食内容の充実である。

議員 本町の財政状況が厳しいからといって、経費削減だけの観点から、現行の給食センターを民間委託するべきではない。児童、生徒への安定した給食事業を、いかにして継続していくのかの観点にたち、給食センター方式を存続させることが設置者としてとる最善の方法だと思わないか。

町長 本年度から、学校給食センター運営委員会に専門部会を置き、給食センターの運営について現状どおりでいいのか、

ほかにどのような運営方法があるのか、あらゆる方法から検討する。その結果に基づき、教育委員会で最終案をまとめていただく。

議員 民間委託すれば、業者は利益を出すために人件費を削減するなど可能性がある。自治体の責任で現在の給食センターを運営するべきだ。

教育長 私は民間委託を賛成といっているわけではない。これから専門部会を開く予定なので、専門家にも指示を仰いでいく。



▲給食センター外観

Q

学校図書の充実と 予算措置は十分と思うか！



みはら みつひろ
三原 光広 議員

A

必ずしも十分だとは考えていない。



遠賀中学校図書室

学校図書室の
運営・運用状況は

教育長 適切な運用を図るために、校務分掌の中に図書館教育を位置づけている。その中心となるのは司書教諭であり、図書館の利用の仕方、図書の貸し出し・返却・整備を的確に行っている。また、児童生徒が委員会活動としてかわるとともに、学校図書整理員を長期雇用で配置し、児童生徒の希望を考慮した図書の購入、町立図書館とのオンラインによる連携と概ね良好に運営している。

学校図書は
充実しているのか

教育長 公立義務教育諸学校の図書館に整備すべき蔵書標準（充足率）が学級数に応じて定められている。しかし本町の小中学校で充足率が100%に届いていない学校があり充実しているという認識はない。

町長 予算措置は十分だとは考えていないが、執行部は教育委員会から提案された予算要求を措置している。

議員 教育委員会は、文部科学省が学校図書の新書整備計画を1次に平成14年からの5ヶ年（単年度130億円）、2次に平成19年から5ヶ年（単年度200億円）、地方交付税措置を実施している事を知っていたか。

教育長 交付税の中で措置をしている経過は理解していたが、2次の図書整備計画については認識が薄かった。今後は、予算ヒヤリング、要求を確実にやっていく。

議員 ここ数年図書購入費の予算は減額されてきている。生徒数の減少によるものもあるが、文部科学省も、予算措置を行い、図書・読書に取り組んでいる。本町の児童生徒のためにも学校図書について充足・充実を図

学校図書の予算措置は
十分と思うか

教育長 学校図書の標準達成状況から見ると予算措置は十分とは思っていない。

Q

新型インフルエンザ対策は 大丈夫か！



ひらみ こうじ 議員
平見 光司 議員

A

ポスター、チラシ、リーフレットの配布、ホームページ等で町民全体に周知した。



広報おんがの折り込みチラシ

町民に対する対応策は

議員 新型インフルエンザ（豚インフルエンザ）の感染者が急速に増えつづい

中、高、幼稚園、大学などの休校は4,000校に達し、発熱相談センターの電話は24時間鳴りつづい

ばなして、現場が大変混乱した。

本町の町民に対する具

体的対応策は。

町長 町長、副町長、総務課長、福祉課職員と今後の対応の協議を行い、

対策を協議する体制の確

認と、住民に向けた当面の

議員 職員の連絡体制、医療機関と行政との連絡調整など行動計画を講ずる必要があると思うが。

町長 全ての体制は取っている。職員については、行政機能を落とさないように、マスク、ゴーグル、防護服を用意している。

福祉課長 要介護3・4・5の方で一人暮らしまたは高齢者単独世帯の方、

障害程度が1級〜4級で一人暮らしで介助を要する方などをリストし、日常生活の支援、食料の提供を行うべき対応を考えている。

児童生徒に対する

対応策は

教育長 同様にポスターの掲示と保護者あてにリーフレットを配布して、

予防の基本が手洗いとうがいであること、高熱が出た場合の電話相談窓口等不安を感じることなく

対応できるように周知した。

またニュージーランドとの国際交流事業ついて

は、国内の情勢やニュージーランドの状況を踏まえ、生徒の健康と安全を第一に考え、本年度は本町からの派遣及び受け入れ事業は中止した。

議員 行政としては住民の生命、健康、安全を守るためにある。

新型インフルエンザに対する危機意識を持って、感染予防等、被害の最小化を目指して、町民の生活の安全・安心を確保していただきたい。



一般質問の詳細については、遠賀町ホームページ「ようこそ議会へ」に議事録を掲載していますので、ご参照ください

～委員会レポート～

第一常任委員会 学校訪問視察調査報告

7月1日に島門小学校、遠賀中学校ならびに学校給食センターを視察しました。各訪問先での質疑状況は以下のとおりです。



◆島門小学校

【学力の向上は】

一番大事にしているのは一時間の授業を大切にすること。教師の指導力を高めることは不可欠だが、児童同士の豊かな人間関係を保つには、読む力、話す力を発達させるための文字とのふれあいが不可欠。

よって、朝の読書タイム、学級図書の充実を力をつけている。授業の補充は、読み書きドリルを中心に掃除が終わった後行っている。学校だけの努力だけでは足りない部分もあり、家庭学習の充実が今後の課題である。

【携帯電話の持ち込みは】

原則は禁止。しかし、校区が広い場合、保護者からの申請があった場合のみ、校長が保護者と直接面談して学校では絶対使わない約束で許可することもある。

【躰は】

家庭との連携で、児童の日常生活・態度を総会や学校の日などに問題提起しながら、保護者の意識付けを図っている。

本当に学校に来て欲しい保護者がこなければ、担任が個別に

家庭訪問を行う場合もある。

【図書館の状況は】

図書委員会や読書ボランティアの協力で、新刊本の紹介、読書感想文を効果的に館内に張り出し、講読意欲をかきたてる工夫が凝らされていた。また、専門書などの分類も徹底されていた。



▲島門小学校図書室

◆遠賀中学校

【屋根つき駐輪場外の雨ざらし状態の自転車は】

自転車通学の登録生徒数は150名。(通学距離2キロ以上) 屋根つき駐輪場は2、3年生が利用しない場所に1年生が停めている。平成16年に学校が荒れていた時期、1年生の自転車盗難が多かったのでPTAとも協議し見える所(防犯カメラもある)に

置こうとなった。

また、駐輪場増設を学校教育課に要望したが、その時はしないという回答で、屋根付きに入りきれないのだから、別のところに停めるしかなく、その後は要望していない。

また、登録していても、ほとんど自転車通学していない生徒もいると思うので、今後実態調査をする。

【校舎3階図書室並び廊下の雨漏り対策は】

学校教育課・陸屋根のスポット修繕では雨漏り個所の特定がしにくいため、平成22年度耐震工事を前倒し、併せて校舎全体の陸屋根シート防水工事を計画。内部から応急処置が出来るか建設課と調査協議を行う。



▲遠賀中学校雨漏り箇所

◆学校給食センター

給食センターでは、小・中学校の児童・生徒ならびに教職員分、1520食を作っている。



▲給食の試食

栄養士の指導のもと、栄養のバランスを考え、季節に応じた野菜などを使用し、色づかいも工夫することで、食がすすむように心がけている。

現在、食物アレルギーの児童・生徒が8名いるが、卵やエビ・そばなどに反応するので、通常の作業内で時間を見計らって、アレルギー食を作り、個別にランチジャーに入れて配送している。

まさに町営の給食センターならではの行き届いた配慮である。

残暑お見舞い申し上げます。

遠賀町議会議員一同

わかまちの 伝統文化

く守り継がれる地域行事く

●木守区子どもみこし

御神輿や山笠などは「五穀豊穰」「家内安全」を願う趣旨のもとに、古くから、地域の伝統行事として継承されている。

木守区の子どもみこしは、昭和61年に行われた「遠賀町子どもまつり」に子ども会として、ダンボール神輿を作って参加したことをき



っかけに、子ども達の「本物の神輿を担ぎたい」という熱い願いと、子ども達が夏休みに境内でラジオ体操をしたり、併設の公民館で遊んだりキャンプをしたりと、子ども達と神社との関わりは非常に深いものがある。

また、地域で過ごす子ども達の「安全」と「健やかな成長」を願い、子ども達が自ら御神輿を担いで区内を練り歩くことは、大変意義のあることではないかと考え、区評議員会および井手神社総代と十分協議を重ね具体化したものである。

御神輿本体は、井手神社改築に伴う「遷宮」ののりに作成された御神輿が境内のお堂に保管されていたものであり、子どもみこし実施に掛かる諸経費（法被100枚、帯、はちまき引き綱、半鐘、幟、台車）は、区民の方々の温かい理解と賛同により寄附金で十分

まかなうことができた。



子どもみこしは、その後、子ども育成会を中心に受け継がれ、今年で24回目を数える。しかしながら、子どもの減少に伴って、運営形態を再考する時期にきているのも現状である。

四半世紀の間、受け継がれ根付いてきた「子どもみこし」が、今後も、木守区の伝統的行事の一つとして、区民に親しまれ継承されることを期待するものである。

木守区 村田 廣幸

森繁義議員逝去

町議会議員森繁義氏が5月31日死去されました。

故人は平成11年の初当選から連続三期当選、この間、遠賀郡合併調査特別委員会委員長や第一常任委員会委員長等を歴任され、商工業の発展や生涯学習の推進をはじめ、あらゆる課題に力を注がれてきました。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



編集後記

新型インフルエンザの感染者は、国内では一時のピークを過ぎ、安堵感も広がっている。しかしながら今一番心配することは、秋冬の第二波の襲来である。

1918年のスペインかぜは、春の第一波は症状が軽く死者も少なかった。第二波、第三波の流行が20年春まで世界を駆け巡り、最終的には4000万人以上が死したとされる。日本でも国民の約4割が感染し、38〜45万人が死亡したという。これだけの被害を出したのに、日本ではほとんど忘れられているのでは：

その後、1957年にはアジアかぜ、1968年には香港かぜが流行。新型インフルエンザは、スペインかぜ以降も10〜数十年おきに世界的な大流行を繰り返してきた。春に流行が始まった点など今回の新型はスペインかぜに似ている。過去の被害の実態や当時の人がどう対処したかなど、過去の歴史を知ることが重要ではなからうか。そして今後も注意深く監視しつづける必要がある。

平見 光司

広報調査特別委員会

委員長	舛添 清美
副委員長	三原 光広
委員	堅田 繁
	古野 修
	平見 光司
	萩本 悦子
議長	濱之上喜郎